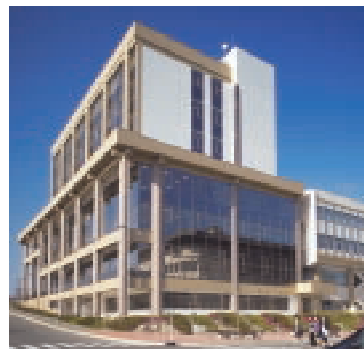


図書館情報センター館長挨拶



図書館情報センター 館長
寶多國弘

日本は今、百年に一度といわれる経済不況の直中を彷徨っております。この経済不況から抜け出すため、政治・経済界で様々な試みが実行されておりますが、将来に明るい希望を見いだせないまま今日にいたっております。

このような時代に学生となられ、就職活動をされなければならないということは、実に変なことであるといわなくてはなりません。しかし、この経済不況下にあっても、決してそれに負けることなく、多くの卒業生の皆様が、希望する就職先に就職されました。残念ながら就職できなかった少数の卒業生もおられます。

その違いはどこにあるのでしょうか。一言でいえば、将来に対する目標意識をもち、「やる気」をもって努力し、四年間の学生生活を送っていたかどうかにかかると思います。

何時の時代にあっても、学生の本分は学問することにあります。学問をするということは、書物を読むことです。書物を読むことによって知識を得、その知識によって自分の可能性を引き出すことができます。この「知識」は、自分の生涯の宝物になります。

学生の皆様の宝物が、図書館情報センターにあります。一日に一冊のペースで読めば一年間で365冊を読むことができます。二日に一冊を読めば一年間で182.5冊を読むことになります。書物を読むことを通してしか、自己の「ものの見方」「考え方」を確立することはできません。まさに図書館は、自己の人間性を確立してもらう場なのです。

どうか、学生の皆様、将来への目標意識をもち、「やる気」をもって書物を読み続けて下さい。学問・研究の楽しさを身につけてもらえば、将来への道が開けることを約束します。必ず一日に一回は、図書館情報センターに足を運んで下さい。

学生の皆様が利用していただくために不都合のないよう、常に図書館情報センターは、進化しつづけております。要望などがあれば、何なりと館員に申し出て下さい。

さて、長年の念願であった図書館情報センターの「理念と目標」が、三年越しで成立いたしました。この「理念と目標」を達成するため、館員一同が心を一つにして取り組んでいきたいと存じます。

楠元キャンパスにあります歯学・薬学図書館情報センターは、耐震・リニューアル工事が終わり、最新式の図書館に生まれ変わりました。

従来、図書館情報センターと歯学・薬学図書館情報センターの外国雑誌は、別々に発注しておりました。一本化して発注することにより、経費が削減されました。

まだまだやるべきことは多くありますが、利用していただく皆様の立場に立って進化させていきます。教職員・学生の皆様の変わらぬご支援とご協力を宜しくお願いいたします。